



デジタルレコーダー取扱い上の注意と 定期的なメンテナンスのお願い

デジタルレコーダーは内蔵のハードディスクドライブに高画質の映像を、長時間記録することができます。常に効果的にご利用いただくために、本書に掲載している取扱い上の注意をお守りいただくことと定期的なメンテナンスをお勧めします。

取扱い上の注意

ハードディスクは回転するディスクの上をヘッドが浮上した状態で磁気を利用してデータを読み書きする装置です。このハードディスクは非常に精密な装置であり、慎重に取扱わないと故障したり、保存されたデータが破壊してしまうことがあります。

① 振動や衝撃を与えないようにしてください。

ハードディスクのヘッドはディスク面から浮上しており、その間隔は10nm前後です。これはタバコの煙の粒子より小さい距離です。(10nmは10万分の1mmです。)

ハードディスクに衝撃を与えるとヘッドがディスク表面に傷を付け、その傷をつけたときに発生するゴミがさらに大きな傷をつけることとなります。

② 記録、再生中に、主電源をOFFにしたり、電源プラグを抜かないでください。

③ デジタルレコーダーを移動するときは電源をOFFにし、30秒以上経過してから行ってください。

ハードディスクのヘッドがディスク面をこすり、故障の原因となります。

また、電源切断時にディスクの回転が完全に停止するには約30秒かかります。

電源を切断しても、ディスクが回転している間に振動や衝撃を加えないでください。

④ 使用温度範囲を必ずお守りください。

ハードディスクは高温の状態で使用し続けると、内部の潤滑油が劣化し駆動系に悪影響を及ぼします。

通気を考慮して、製品ごとの使用温度範囲内で使用してください。使用温度範囲は取扱説明書で確認してください。

⑤ 結露に注意してください。

ハードディスクに結露が発生すると、ヘッドがディスク面に吸着し、動作不良を引き起こす原因となります。

【結露が発生しやすいのは次のような場合です。】

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋やエアコンなど直接冷風のあたるところ
- 湿気の多いところや湯気のたちこめているところ

定期的に消耗部品の交換をお願いします。

ハードディスク、冷却用ファン、および Blu-ray Disc ドライブ(搭載製品のみ)は消耗品です。定期的な交換が必要です。以下の年数を目安に定期的なメンテナンスをお願いします。

- ◎ ハードディスクは3年(周囲温度25℃での使用時)
- ◎ 冷却用ファンは3年(周囲温度25℃での使用時)
- ◎ Blu-ray Disc ドライブは3年または累積書き込み時間が2,000時間(周囲温度25℃での使用時)

※ 上の数字はあくまで目安であり、寿命を保証するものではありません。

※ Blu-ray Disc および Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。

定期的な点検実施のお願い

定期的な点検をお願いします。

◎ 定期点検の実施【1年ごと】

- 機器の清掃
- 機器状態の点検

その他の注意点

■ 実際の運用を始められる前に必ず事前のチェックの実施をお願いします。

事前に録画を行い、録画した映像が正常に記録されているか確認してください。

■ 万が一、ハードディスクが故障した場合、記録したデータの復旧を行うことはできません。

